

議会だより

荻野吟子「荻野医院」開業120周年記念スポーツ講演会



[表紙写真]

1月18日(木)にせたな町民ふれあいプラザにおいて荻野吟子「荻野医院」開業120周年記念スポーツ講演会が行われました。

講師に車椅子バスケットで活躍された京谷和幸さんを招き、当日は沢山の方が来場していました。

第4回定例会	P 2～3
一般質問	P 4～10
委員会レポート・臨時会	P 11
特別委員会・行政視察報告	P 12
納税状況の報告	P 13
定例会・常任委員会活動状況	P 14～15
議会の動き・編集後記	P 16



平成29年第4回定例会が12月6日に行われました。

補正予算、条例の改正等の議案21件の審議を行いました。

審議された議案のあらましについては次のとおりです。

会 計 名		今 回 補 正 額	補 正 後 の 予 算 額
一 般 会 計 (第 6 号)		1億3189万8千円	95億664万円
特 別 会 計	国民健康保険事業(第3号)	1587万1千円	16億9024万円
	後期高齢者医療(第2号)	430万3千円	1億3775万8千円
	介護保険事業(第4号)	226万1千円	10億3595万円
	介護サービス事業(第2号)	17万6千円	5221万3千円
	簡易水道事業(第5号)	57万6千円	3億8359万6千円
	公共下水道事業(第2号)	257万6千円	5億9127万4千円
	漁業集落排水事業(第1号)	30万円	690万3千円
	風力発電事業(第2号)	357万6千円	6328万5千円
	病院事業会計【収益的収支】(第2号)	1657万1千円	12億8781万1千円
	病院事業会計【資本的収支】(第2号)	75万6千円	6110万4千円

補正の主な内容

- ◎一般会計補正予算(第6号)
ふるさと応援寄附金返礼品、介護サービス提供基盤等整備事業補助金、産業担い手育成事業奨励金、給与改定による人件費の精査、介護保険事業特別会計ほか各特別会計への繰出金の精査、委託業務及び工事の完了に伴う執行残の精査等です。
- ◎国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
国庫補助金等精算返還金のほか、給与改定による人件費の精査等です。
- ◎後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
電算システム保守管理業務委託料の執行残精査、保険料等負担金の追加等です。
- ◎介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
給与改定による人件費の精査、介護報酬の改定による介護サービス給付費の精査等です。
- ◎介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)
給与改定による人件費の精査、臨時介護支援専門員賃金等です。
- ◎簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)
給与改定による人件費の精査です。
- ◎公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
処理場の曝気装置修繕料及び清掃手数料のほか、給与改定による人件費の精査です。
- ◎漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
水中ポンプなどの修繕料です。
- ◎風力発電事業特別会計補正予算(第2号)
洋上風車1号機及び2号機のオイル漏れ防止のための油圧シリンダーの修繕料、定期メンテナンス業務委託料です。



◎病院事業会計補正予算
(第2号)

- ・収益的収入及び支出
- ・給与改定などによる人件費の精査です。
- ・資本的収入及び支出
- ・多項目自動血球計数装置購入のための医療機器購入費です。

条 例

◎認定こども園条例について

就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の規定に基づき、幼保連携型認定こども園として、せたな町立認定こども園を設置するため、本条例を制定しました。

◎農業委員会の委員の定数に関する条例について

農業協同組合法等の一部を改正する等の法律の施行により農業委員の選出方法が公選制から任命制に移行となり、新たに農業委員の定数を定めるため、本条例を制定しました。

◎町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例について

◎職員給与に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じて、給料月額を改正するため、本条例の一部を改正しました。

◎学校設置条例の一部を改正する条例について

平成30年3月31日をもってせたな町立馬場川小学校を閉校とするため、本条例の一部を改正しました。

そ の 他

◎公有水面埋立ての承認の申請に伴う意見について

一般国道229号美谷防災事業に伴い、狩場漁港美谷地区への接続道路として新たに造成が必要のため、公有水面埋立法第3条第4項の規定により、議会の議決を求めました。

◎物品購入契約の締結
認定こども園施設用備品
(事務用品等)

- ・契約の相手方
- ・久遠郡せたな町北檜山区北檜山269番地
- ・有限会社岩原書店
- ・代表取締役 岩原 正志
- ・契約金額 786万2千4百円

発 議

◎議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じて、期末手当を改正するため条例の一部を改正しました。

◎細川伸男議員に対する議員辞職勧告決議について

当町議会は細川伸男議員が公人として、自らその重大さを真摯に受け止め、町民目線に立ち、はじめをつけるべく速やかに議員辞職することを求め、勧告しました。

提出議員	賛成議員	反対議員	欠席議員	退席(当該議員)
真柄克紀	神田和浩	石原広務	江上恭司	細川伸男
本多浩	榊田道廣	熊野主税		
大湯圓郷	大湯圓郷	大野一男		
平澤	平澤	岩原正志		
大野一男	大野一男			
熊野主税	熊野主税			



一般質問



5人の議員から一般質問があり、町長・教育長に答弁を求めました。

せたな町のスポーツ振興について

石原 広務 議員



質問

せたな町の少子化は深刻な問題であり、町を支える基幹産業の担い手不足にも大きな影響を与えています。そのような状況の中、子供達はサッカー、野球、陸上などの少年団活動や部活動に学業と合わせて日々努力し、厳しい練習に取り組み、全道・全国大会出場を目指して頑張っています。

一方で輝かしい結果を出せば出すほど、家庭の負担は増していきまます。父兄の負担は当然としながらも町に対する要望の声も出ているのが現状です。

感謝の気持ちを持ちながら、将来に夢を持ち続け頑張っている子供達に対し、町として今後もなげ出来るかという観点から各種スポーツ少年団への補助金の増額や全道・全国大会等へ繋がる各種大会参加に対し、バス利用の回数を増やして欲しいとの要望があります。町長、教育長の所見を伺います。

補助金の見直しを含め支援をしていきたい

答弁 町長

本町の子供達は、学校の部活動、スポーツ少年団の活動を中心に各種大会において優秀な成績を収め、全道・全国大会への出場を果たすなどの活躍を続けており、町のスポーツ振興の取り組みの成果が現れているところであります。そこで町としては全道・全国大会参加奨励補助金による

支援を行うとともに、ハード面では大成農村広場グラウンドの改修工事や町民温水プールの建設計画などハード、ソフト両面での更なるスポーツ振興を図っているところであります。議員には町民プールの建設についても理解をいただきたい。また、バス利用回数を増やして欲しいという要望ですが、運行状況は飽和状態にあり、現状の回数の中で利用いただきながらスポーツ少年団への補助金の見直しを含め支援をしてまいりたい。

更に新たに保育料、学校給食費の無償化に取り組み、保護者の負担に充てていただきたい。

負担軽減を図るよう検討していく

答弁 教育長

本町のスポーツ少年団加入状況は11月1日現在、小学生6種目8団体143人46.4%、中学生2種目2団体40人で23%の加入率となっております。このように少年団のスポーツ活動が盛んなことから

体面向上においては全道でも非常に高い位置にあり、指導者や保護者の深い理解によるサポートのおかげと感謝しています。

今年度のスポーツ少年団の全道・全国大会に繋がる参加状況は野球が4大会、サッカーが5大会、剣道が1大会、バスケットボールが2大会など様々な交流大会にも参加しており、野球においては2大会、サッカーが1大会、陸上は1大会3名、剣道は1大会1名が予選大会を突破して全道・全国大会の出場を果たしています。

一方では、少子化の影響により少年団の加入者が減少傾向にあり、特にバス代金の1人あたりの保護者負担が重くなってきました。そのような状況下において教育委員会としてはスポーツ少年団と十分に協議して、前向きに保護者負担軽減を図るよう検討していきます。

再質問

町長の答弁の中に大成農村広場野球場の改修工事や北檜山温水プール建設計画も触れていたが、大成農村広場の改修は4年程前に教育委員会から、瀬棚三杉球場、北檜山真駒内球場も改修したので、次は大成農村広場野球場の改修計画が出されてきました。地域の野球関係者にも相談し、昨年実現の予定が1年延びて、この秋に着工となりました。

大成中学校野球部員の3年生が引退し、部員数が減るのをわかつていながら、1年前に町長が改修計画を決裁しなかったのは理解できません。

北檜山温水プールの建設計画は常任委員会で継続調査の案件ですので適切な判断をさせていただきます。

以前から教育委員会に要望として出している真駒内球場のフェンスの改修、中体連やキャンプタウン等の大会や合宿で利用される施設などで改修に対して熱望されている状況なので前向きに検討していただきたい。

連携を図りながら進めていく

再答弁 町長

実現に長いこと掛かっているとの指摘もあったが、合併後厳しい財政状況の中で全てが要望どおり実現できる状況にはなく、優先順位をつけてやってきたつもりです。

いずれにしても子供の教育につきましても、バランスの取れた健全な育成が必要、という面からも教育委員会と十分連携を図りながら進めていきます。

今後検討していく

再答弁 教育長

真駒内球場の改修については、野球関係者の方々からも要望は聞いているが多額の費用が掛かることも含め今後検討させていきたい。



大成農村広場グラウンド

あわび山荘の今後について

質問

3月と9月定例会において国民宿舎あわび山荘の建て替えについて2度にわたり質問しました。9月定例会の一般質問での町長答弁では、建て替えについては町民に対し説明責任があり、今のままでは議会に提案できないとのことでした。

改めて次の2点について見解を求めます。

- ①9月定例会一般質問終了の翌日、9月26日付けの北海道新聞朝刊に一旦廃止を示していた大成区の国民宿舎あわび山荘については、存続について前向きに考えたいと述べたと報道されたが町長の見解を伺います。
- ②建て替えに向けた経営改善などの条件整備を進める意向を示したとあるが、条件整備とはなにか。町として、どのように取り組むのか伺います。

今後も協議し、課題を整理していく

答弁 町長

国民宿舎あわび山荘につきましては3月の第1回定例会、9月の第3回定例会においても同様の質問があり答弁をさせていただきましたが、1点目の存続について前向きに報道されたことですが、9月定例会において石原議員の再々質問に対して、存続について前向きに考えたいが、私が存続するといっても議会の皆さん方の理解や町民の理解がなければ実施実行できるものではないと答弁させていただいております。私の見解には変わりはありません。

2点目の建て替えに向けての条件整備については管理運営する公社の経営改善、法人としての資本の充実を含めた経営基盤の強化、自立に向けた取り組み、議会や町民の皆さんの理解などの条件整備を進めて、今後10年、20年では

なく長く任せられるように考えております。

町としての取り組みは今後、温泉公社と協議をしながら、これらの課題を整理していくということでご理解いただきたい。

再質問

私が3度にわたって、あわび山荘に関連して質問しているのは、町長が建て替えるにいて前向きに検討するとおっしゃっていますが、特別委員会での取りまとめは町長のあわび山荘は廃止する等の基本的な考えの下、結論を出す前に公社側と十分協議をするようにとのことであり、その協議内容も明かされないなか、昨年の大成区町政懇談会でも建て替えはしませんと答弁しています。

平成26年7月30日の特別委員会で出された資料にもある国民宿舎としての役割は終了した。築36年を経過し、毎年多額の修繕費を要している。平成26年度の廃止はしないが1,000万を超える見込み

となった場合は即廃止する等の考えはそのままの状況なので、新聞報道もされ前向きに検討するということや、選挙公約にもしたあわび山荘は残すという面等に対して、基本的に廃止の考えを白紙撤回していただきたい。

公社側と協議をしていく

再答弁 町長

あわび山荘の建て替えについては、課題の整理と前回の答弁でも何回も申し上げています。課題の整理なくして山荘の建て替えを進めるという無責任なことは出来ません。同じような質問を3度にわたってされるといふことについては大変重く受け止めてはいますが、今のままでは町民全体の理解は得られません。安易に思いつきで政策を出すというふうにもなりませんので、今後も公社側と協議をしていきます。

道道北檜山大成線について

大湯 圓 郷 議員



質問

道道北檜山大成線は、平成25年4月の全線開通により、新たな交通ネットワークが構築され、災害による孤立集落の解消や広域観光の促進など産業振興に大きな波及効果が見込まれる一方で、依然として道路の狭い危険箇所や改良など未整備区間も多くあります。

特に鵜泊漁港前後の新成地区については、以前の住民説明会では新成団地内に新たな道路ができる等の説明が北海道よりされましたが、依然として整備されていない状況から、今後の見通し及び北海道

に対しての要望等について町長にお伺いします。

関係機関に要望していく

答弁 町長

道道北檜山大成線については、昭和33年北檜山町字水垂から大成村字久遠間の町道久遠太櫓線が開発道路の指定を受け、昭和47年に北檜山大成線として道道昇格した後も北檜山町字新成425番地から大成町字富磯312番地の区間は開発道路として、国直轄で整備していただきました。

北海道に移管後も開通に向けての防災対策から法面保護、電波対策及びトンネルに係る舗装、照明工事などの完成を見て、平成25年の4月末に全線供用開始となり交通量も大幅に増えましたが、ご指摘のとおり狭隘箇所^{きょうあい}の拡幅改良等、未だに未整備区間も点在して

いる状況にあります。

北檜山区新成地区におきましては、鵜泊団地を通るルート^{ルート}を予定している旨の説明会を実施いたしました。予定ルートでは効果が受けられないことや現道の補修等の対策費用が別途必要になることから、計画の見直しを求められ、今年度は鵜泊漁港周辺の約700メートル間の現道ルートでの測量、概略設計を実施し、平成30年度以降も現道ルート^{ルート}全区間の測量、概略設計を進め、最短で平成31年度に住民説明会を開催したいとの情報を得ております。

未整備区間については檜山地域振興協議会を通じ、檜山圏域懸案事項として、函館建設管理部地域社会資本整備推進会議において地域社会資本整備要望として北海道へ要望しておりますが、今後も関係機関に対し引き続き強く要望していくことをご理解願います。

再質問

平成31年度に概要が決まっています。説明会があると町長から答弁がありました。

北檜山大成線は早く幅を広くして大型バスが行き来し、途中に漁師、農家の直売所を造って奥尻島を見ながら、素晴らしい海岸線を早く全国の皆さんに見ていただくような観光ルートを作ってください。1年でも早く道や国に要望をお願いします。

大成区の方で途中で作業が止まっている道路が何箇所かありますが、その部分は今後どのようになるのかわかる範囲で説明お願いします。

早期の事業着手の要望をしていく

再答弁 町長

新成地区の狭隘箇所については早期に着工し改良していただくようにこれからも北海道に対し要望していきたいと思っています。

また、大成区においては同じように全て改良整備は進んでいないという状況にござい

瀬棚分遣所の職員の配備について

熊野 主税 議員



質問

平成28年4月から統合により瀬棚分遣所とし職員は日中2人、夜間は1人の配置でしたが、瀬棚区の町内会の強い要望から救急車の配備については28年度と29年度は土日祝日を除く日中に救急車を配備することにしました。

平日の日中だけとはいえ、救急車が配備されていることは瀬棚区の住民にとっては大変心強く安心感を受けていることはもちろんですが、火災の際には消防団員だけで初期消火の重責を担うことなく、救急車のクルー3人がそのまま消防団員の出勤を待たずに

消防車をいち早く火災現場に向かう体制がとられたことも大きなメリットであり、瀬棚区の町民にとっては大きな安心をも感じております。

27年3月の一般質問で町長は課題が出てきたら皆さんの意見を頂戴しながら考えてまいらなければならぬとおっしゃいます。30年度からの瀬棚分遣所の救急車の配備、職員配置体制などをどのようにお考えかお尋ねいたします。

町としても協力を惜しまない

答弁 町長

町といたしましては瀬棚区の強い要望もあり、急激な変化を緩和する措置から平成28年度、29年度につきましては瀬棚分遣所に救急車の配備できる最低限の人員体制であります。24名が確保出来ることから、平日の日中に限り救急車

を配備し、夜間等におきましては救急救命士を配置して指令車の救急資機材装備の充実を図り、救急車到着までに指令車の先行出勤して救急対応をしているところです。

次に火災時の初期消火活動についてでございますが、現行の署員3名から2名体制になると火災時には非常招集の消防団員1人、または瀬棚区在任の非番である職員1人の到着を待ち、3名体制が整ってからの出勤となります。このことから平成28年度瀬棚消防団車両の更新時に、消防の組織統合時の署員配備、初期消火時間を考慮して、高性能のキャブ付きタンク車両を配備したことから、初期消火活動におきましては大きな問題は無いと考えているところです。議員お尋ねの平成30年度以降瀬棚分遣所の救急車の配備、署員配置体制につきましては、急激な変化を緩和する措置の2年間も終了いたしますことから、まちづくり調査特別委員会の調査結果や町議会の決定どおり進めてまい

りたいと思っております。

また町民皆様の安全安心な暮らしを守るためにも、消防救急車両資機材等の充実ばかりではなく、消防署員はもとより消防団員の資質向上に係るバックアップについては町といたしましては協力をご惜しみませんことからご理解の程よろしくお願い申し上げます。

再質問

人事の件で審議会、議会には職員数が23人になるのは33年との説明でしたが、定年前に辞めた職員がいても補充しませんでした。33年までその人数を維持すべきだったのではと思います。

消防力は今の現状で良しということではなく、8分消防5分救急というのを目指している地域があるように、キャブ型消防車を配備しても、常に現場に早く到着し、早く放水できるように考え続けなければなりません。

28年度の瀬棚区の救急車出動は99件で37%が直接救急車が出動しております。統合し

なければ分からないことが出てきております。

特別委員会でも審議会でも23名体制ということの説明を何の根拠で絶対的にそれが全てなんだというふうに決めたんでしょうか、たった1名でこの体制を取ることが可能なのであれば続けるべきで、消防力を高めるためにも瀬棚区で何が出来るかということもこれからも考えなければなりません。

資機材整備等は更に充実させていく

再答弁 町長

この議会並びに審議会の決定に基づいて消防の体制を整えているという状況をこれにご理解をいただきたいと思えます。救急車の配備につきましても、これは23名を目標にしてこの職員体制を図っていくということ、23名体制ということになりますと当然これは救急車の瀬棚区における日中の配備というものは、これはもう全然できなくなるといふ説明をしています。



瀬棚分遣所

出来るだけ救急に支障をきたさないようにということの中で指令車を先行出動させるという対応をさせていただいているところでございます。これは議員おっしゃられるように、地域の瀬棚区の区民にしてみたら色々と心配されるということは重々承知しております。そうした状況はこの協議をする時点でも当然予想されて議論が深められたというふうには思っております。

す。したがって、この心配を払拭するために我々としては色々と資機材の整備をはじめとして努力しているという状況で、一本算定あるいは人口減少ということで交付税は目に見えて減り、今の町の財政状況の見通しの中ではやむなしということで大勢の議員の

皆さん方のご理解もいただいたものと理解しています。不足の部分については資機材の整備等に対応し、更に充実していくべきものがあると思えばそういった対応をさせていただきたいということでは是非、ご理解をいただきたいと思えます。

せたな町高齢者保健福祉計画及び第6期介護保険事業計画の総合老人福祉政策について



真柄 克 紀 議員

代が75歳以上になる平成37年に向け地域の実情に合った対応を求められる。第7期計画に向かってせたな町の高齢者福祉計画及び介護事業にどのような見識をお持ちか伺います。

質問
介護保険事業計画は第6期から地域包括ケア計画として平成37年までにケアシステムを構築する。全国的に団塊世

これから安定したサービスを維持するため、どのように施策を展開していくのか、また、当町の在宅福祉サービスの現状と問題点、各福祉施設

の現状と整備充実の方向性について、各種保健福祉活動の今後の進め方について、地域包括ケアシステムの町民の理解度について、介護ボランティアの現状と今後のあり方についても伺います。高度成長の完全雇用の世代から現在に至り日本型福祉は大変に思惑と違った方向で高齢化と少子化の中、大きな窮地に立たされていると思います。せまた町の高齢者の自立自助の今後のあり方と具体的な政策の展開について考えを示していただきたいと思います。

は今後、入所を必要とする人数に大きな変動は見られないことから現状で対応できると思う。
保健活動については疾病予防や介護予防の観点からも検診後の徹底、生活習慣病のハイリスク者への展開も包括支援センターと連携を密に進めていく。

地域ケアシステムの町民への周知については、地域ケア体制の充実を更に図り医療関係及び介護サービス事業所との連携を図ることで進める。

ボランティア制度については4月から住民主体サービス類型として通所型サービスB及び訪問型サービスBの事業を開始した。当該事業は元気な高齢者の能力を発揮していただきながら自らの介護予防としての社会参加を期待し、生活サポートセンター運営協議会等で協議を重ねて政策を展開したい。

協議を重ねて政策を展開したい 答弁 町長

平成37年には49%の高齢化が予測されており元気な高齢者も含め高齢者も支える側に立っているという認識が必要である。在宅福祉サービスは配食、入浴、移送、除雪サービス等行っている。入浴、除雪サービスは引き続き必要と考える。各福祉施設について

再質問

選挙後ですから、これらの政策を基本的にとどのように体

系づけていくのか、次に作成する計画で高齢化社会に対応できると考えているのか。

次の計画ができれば課題は解決できると考えるのであれば、大きな展望は持つてないかと考えられるが、また、介護支援ボランティアはお互い支え合う精神で高齢者の社会参加活動を促進し自身の介護予防を期待し、健常者の介護ボランティア活動という町民の協力と高齢者の協力、努力なしにこの制度を持続するのは、ただ計画を策定するだけでは無理だと思う。町民の力を引き出し制度を持続していくため、ボランティア活動についても魅力ある制度を先頭に立って対応していくとの考えているのか明確に示していただきたい。

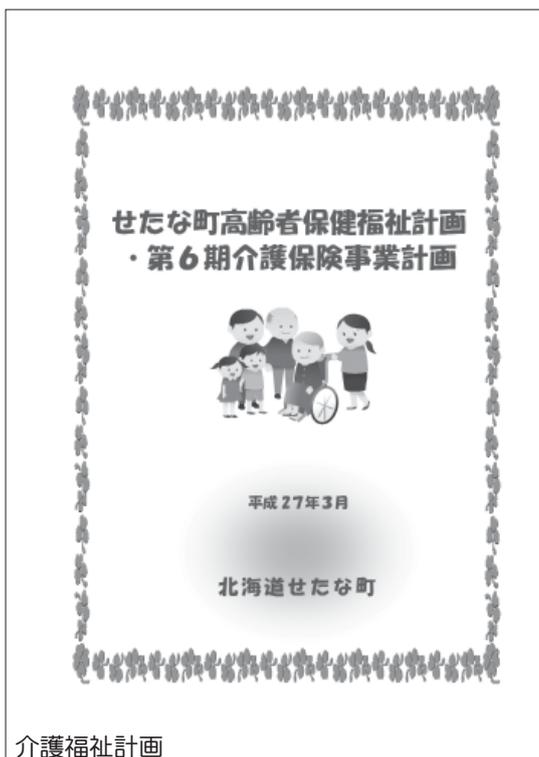
制度安定のために努力をする 再答弁 町長

高齢者については町と健康相談員とも一体となって連携しながら取り組んでいく。介護ボランティアについては介

護、訪問、通所型サービス等のボランティアの構築を目指していく。これは今年走り始めた部分であり、他町に先駆けて取り組んだので、今後、更にこの部分をしっかりと拡大して各地域に必要なサービスを高齢者に対応できるように進めていきたい。

次期の介護保険事業計画では支える側の確保が一番重要である。元気な高齢者のサポーターとして貢献をしていただく体制を今からしっかりと進めていかなければならないと考えている。その他いろいろな話題については保健福

社課でしっかりと対応をしながら健康相談員の皆さんの力を借りながら、高齢者の広報活動にも力を入れながらも若い方々にもしっかりと対応していただく、この制度の安定のために努力をしていきたい。



介護福祉計画

洋上風車（愛称／風海鳥）の今後について

平澤 等 議員



質問

平成16年から稼動している洋上風車は、総工費7億1,018万円、補助金3億2,634万円、起債等は3億8,384万円。発電出力は1,200kwで瀬棚港外防波堤付近に建設されております。日本初の洋上風車として注目され、町外から多くの観光客や視察団を受け入れております。発電電力はクリーンエネルギーとして注目され、平成28年の売電収入は6千万円超となっております。耐用年数は17年間で平成32年度までですが北電との契約は20年間で平

成35年までとなっております。起債措置は平成30年度完済と示されており、以後余剰金の積立が期待されておりますが、近年、自然災害やユニット故障が頻発し修理のための稼動停止が余儀なくされ、今後の発電計画が懸念されます。

- ①今後の収支計画及び維持管理対策の考え方は
 - ②耐用年限を控えた中での長寿命化対策は
 - ③風車施設の稼動終了時の対応策は
- 以上の3点について伺います。

最良の対応策を検討していく

答弁 町長

せたと町の洋上風力発電施設については旧瀬棚町において一般財源の確保及びクリーンエネルギーの推進を目的に

整備したものであります。
①建設から14年が経過し、風車本体の発電装置や油圧系統等の故障が多くなり修理に係る経費も増加する一方、計画的な売電収入が出来ないことで苦慮しておりますが、建設時の借入起債が平成30年度に完済となるため、以降は起債償還分を積立することが可能となり、定期整備や災害等の修理費に充当できるものと考えております。

②・③洋上風車は平成32年に耐用年数を迎えますが、その後の一般的な対応として、3つの例が想定されます。1つは全面撤去して新しい設備への全面的な更新、2つ目は経年劣化した主要部品を交換する部分的更新、3つ目は完全撤去による廃止措置と考えられます。なお、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の事業計画は平成35年までと認定されております。全面更新をするとした場合にも現在の外防波堤付近の洋上と維持管理コストの低い陸上との選択があり、部分更新にしては、

どこまで交換補強するかなど、それぞれの費用対効果を検証しながら専門家や関係機関の意見を聞きながら方向性を出したいと考えております。

また、平成36年以降の売電契約は未設定でもあります。洋上風車の長寿命化や改修

について経産省の回答は、日本初の事業であり前例がないため内部検討後になるとのことです。計画が終了する平成35年までに情報収集に努めながら、最良の対応策を検討してまいります。



瀬棚区の洋上風車



委員会 レポート

総務厚生常任委員会

第9回

一、調査年月日

平成29年10月24日

二、調査項目及び結果

(1)総務課所管

・せたな町防災ハンドブックの作成について調査しました。

(2)町民児童課所管

・新たな国民健康保険制度の概要について調査しました。

第10回

一、調査年月日

平成29年11月16日

二、調査項目及び結果

(1)総務課所管

①せたな町農業委員会委員の選出方法の変更について調査しました。

②人事院勧告に伴う給与改定等について調査しました。

③防災無線行政無線のデジタル化について調査しました。

(2)町民児童課所管

①せたな町立認定こども園条例の制定について調査しました。

②せたな町子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部改正について調査しました。

(3)保健福祉課所管

・介護サービス提供基盤等整備事業費交付金について調査しました。

産業教育常任委員会

第8回

一、調査年月日

平成29年11月22日

二、調査項目及び結果

(1)教育委員会事務局所管

①せたな町立認定こども園条例の制定について調査しました。

②せたな町子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部改正について調査しました。

③せたな町学校給食費の無償化について調査しました。

④せたな町民プールの建設候補地、課題について調査しました。

(2)水産林務課所管

①大成水産種育苗センター取水設備整備事業の概要について調査しました。

②公有水面埋立ての承認の出席に伴う意見について調査しました。

(3)農業委員会所管

・せたな町農業委員会委員の選出方法の変更について調査しました。

(4)農務課所管

①産業担い手育成事業の推薦人数等について調査しました。

②地域づくり総合交付金の事業概要について調査しました。

議会広報発行常任委員会

第4回

一、調査年月日

平成29年10月31日

二、調査項目及び結果

・議会だより50号のゲラ編集しました。

③北部檜山酪農ヘルパー利用組合事業に対する支援要請について調査しました。



◆第7回◆

10月11日開会

◎専決処分の承認

一般会計補正予算(第5号)

10月22日執行の第48回衆議院議員総選挙に伴う執行経費です。

◎副町長の選任について

前副町長の任期が10月17日で満了することに伴い、次の

方を後任として選任することに同意しました。

北檜山区北檜山

佐々木 正則

賛成 7票 反対 3票

◎教育委員会教育長の任命について

任期が10月17日で満了することに伴い、次の方を任命することに同意しました。

大成区久遠

成田 円裕

賛成 8票 反対 2票

◆第8回◆

10月24日開会

◎風力発電事業特別会計補正

予算(第1号)

落雷により被害を受けた洋上風力発電所2号機のブレードの修繕費についてです。

畜産クラスター事業の
推進と専決処分に関する
調査特別委員会

第7回

一、調査年月日

平成29年11月6日

二、調査項目及び結果

取りまとめの経過を改めて
各委員に報告し、継続調査と
なりました。

行政視察
調査報告

総務厚生常任委員会が道外
行政視察調査を行いましたの
で、内容をお知らせします。

1 派遣委員

- 委員長 大野 一 男
- 副委員長 本多 浩 浩
- 委員 梶田 道 廣
- 委員 大湯 圓 郷
- 委員 平澤 等

2 日程

11月20日～22日（3日間）

3 目的

当町において、「みんなでき
つくるまち」の推進を掲げ、

町民が自ら考え、実践し、町
内会活動の自主性と活性化を
図るための事業を行っている
が、「協働のまちづくり」を
柱とし、地域コミュニケーションの
自主活動支援に力を入れてい
る五城目町の政策を今後まち
づくりの参考とするため、行
政視察を実施する。

◎視察先

◇秋田県五城目町役場、地域
活性化支援センター◇

1 調査事項

・協働のまちづくりについて
（町内会ヒジヨン等）

・自主防災組織について
・五城目町地域活性化センタ
ーについて（現地視察）

(1)協働のまちづくりについて
（町内会ヒジヨン等）

五城目町は当町と人口規模

高齢化率が似ており、40年後
の将来推計人口は4,000
人程と予想され、人口減、高
齢化ということで、これから

のまちづくりに関しては大変
難しい状況にある。こうした
中で、各町内会をベースとし
ながら県と共同での事業を展
開し、「元氣と安心で幸せを
実感できる町づくりプログラ
ム」を作成し、地域課題に取
り組んでいる。

(2)自主防災組織について

自主防災組織は町内会単位
で結成し、現在、国の委託事
業としてリーダー育成事業に
も取り組み、組織率の推進を図
っている

また、自主防災組織の活動
の経費的な面からも町側から
支援があり、資器材の購入に
ついては宝くじの助成金を活
用している。

(3)五城目町地域活性化支援セ
ンター（現地視察）

目的としては廃校後の旧校
舎の有効活用を行い、雇用を
生み出すということで設立さ

れた。

地域おこし協力隊の活動拠
点にもなっており、町の特産
品を使った6次産業にも取り
組んでいる。

首都圏等からの様々な業種
の方々が入居し、活動を行っ
ていることから交流の場とし
ても利用されている。

2 調査結果

今回の研修を通して、協働
のまちづくり、自主防災への
取り組みについて、町民の意
識の高さが伺えた。

これは、町内会の自主活動
推進や地域おこし協力隊をう
まく活用しながら取り組んで
いるためと思われる。

町内会の活発な活動が意識
の高揚に繋がると思われるこ
とから、当町としても、地域
を支える仕組みづくりや、議
員としても積極的に町内会等
に入り込んで支援活動を行う
ことなど、真剣に考えていか
なければならぬと感じた。



視察中の様子

納税状況報告について

せたな町議会政治倫理に関する申し合せに基づき、納入等の期限が終了した町が徴収する税金、各種使用料に係る納税等の状況の要旨を公表します。

(平成29年5月31日現在)

平成28年度以前(個人)

議員名	道町民税	固定資産税	国民健康保険税	軽自動車税	介護保険料	水道使用料	下水道使用料	住宅料	学校給食費
細川 伸男	完納	完納	納付義務なし	完納	完納	完納	完納		
神田 和浩	完納	納付義務なし	納付義務なし	納付義務なし	完納	完納	完納	完納	完納
江上 恭司	未提出	未提出	未提出	未提出	未提出	未提出	未提出		
本多 浩	未提出	未提出	未提出	未提出	未提出	未提出	未提出		
石原 広務	完納	完納	完納	納付義務なし	完納	完納	完納		
柘田 道廣	納付義務なし	完納	完納	完納	完納	完納	完納		
大湯 圓郷	完納	完納	完納	完納	完納				
真柄 克紀	納付義務なし	完納	完納	納付義務なし	完納	完納	完納		
平澤 等	完納	完納	完納	完納	完納	完納			
大野 一男	未納あり	未納あり	完納	納付義務なし	完納	完納			
熊野 主税	納付義務なし	完納	完納	納付義務なし	完納	完納	完納		
菅原 義幸	完納	納付義務なし	納付義務なし	完納	完納	完納	完納		

平成28年度以前(法人)

議員名	町民税 (特別徴収分)	法人町民税	固定資産税	軽自動車税	水道使用料	下水道使用料	町有土地 地貸付料
細川 伸男 (細川建設工業株式会社)	完納	完納	完納	完納	完納		
石原 広務 (株式会社 白栄舎クリーニング)	納付義務なし	完納	納付義務なし	納付義務なし			
柘田 道廣 (天理教 久遠分教会)	納付義務なし	納付義務なし	納付義務なし	納付義務なし			
大湯 圓郷 (有限会社 カネタ 大湯商店)	完納	完納	完納	納付義務なし	完納		完納
真柄 克紀 (有限会社 マル万 杉浦工作所)	完納	完納	完納	完納	完納	完納	
大野 一男 (有限会社 大友商店)	未納あり	未納あり	納付義務なし	完納			
熊野 主税 (有限会社 くまのでんき)	完納	完納	納付義務なし	完納			



冬の交通安全



交通事故が多発する冬を安全に過ごすため
交通安全について家族みんなですっかり確認し
危険を見逃さず事故防止に努めましょう。



定例会・常任委員会出席状況

	定例会								臨時会								全員協議会					
	第1回				第2回	第3回		第4回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
	3月2日	3月13日	3月17日	3月21日	6月8日	9月25日	9月26日	12月6日	1月19日	3月31日	4月27日	5月26日	7月21日	8月25日	10月11日	10月24日	2月16日	3月31日	4月24日	5月26日	8月18日	11月24日
細川 伸男	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
神田 和浩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
江上 恭司	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	
本多 浩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
石原 広務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
梶田 道廣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
大湯 圓郷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
真柄 克紀	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平澤 等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
大野 一男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
熊野 主税	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
菅原 義幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○出席 ×欠席（葬儀、病欠、私用）

	常任委員会																						
	総務厚生										産業教育								議会広報発行				
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第1回	第2回	第3回	第4回
	1月19日	2月6日	2月21日	5月12日	5月29日	7月19日	8月16日	9月11日	10月24日	11月16日	3月1日	3月29日	4月17日	5月30日	6月23日	8月18日	9月12日	11月22日	12月19日	1月27日	5月1日	7月21日	10月31日
細川 伸男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	-	-	-	-
神田 和浩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
江上 恭司	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	×	×	×	×	×	×	×	-	○	×	×	×
本多 浩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
石原 広務	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-
梶田 道廣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×	○	○	○	○
大湯 圓郷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○
真柄 克紀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
平澤 等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○
大野 一男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊野 主税	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
菅原 義幸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○出席 ×欠席（葬儀、病欠、私用）

	特別委員会																		
	予 算					決 算		着服事件の再発防止 と町民の信頼回復				畜産クラスター事業の推進 と専決処分のあり方							
	1 日 目	2 日 目	3 日 目	4 日 目	5 日 目	1 日 目	2 日 目	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回
	3 月 2 日	3 月 15 日	3 月 16 日	3 月 17 日	3 月 21 日	9 月 26 日	11 月 6 日	3 月 2 日	3 月 14 日	4 月 24 日	5 月 12 日	6 月 8 日	6 月 22 日	7 月 3 日	7 月 25 日	8 月 4 日	8 月 16 日	11 月 6 日	12 月 19 日
細川 伸男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
神田 和浩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
江上 恭司	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
本多 浩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
石原 広務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
梶田 道廣	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
大湯 圓郷	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○
真柄 克紀	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平澤 等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大野 一男	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
熊野 主税	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
菅原 義幸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○

○出席 ×欠席（葬儀、病欠、私用）

議会ホームページをご覧ください!!

議会中継や議会の日程、会議録等を随時更新し、最新の議会情報をお知らせしています。

議会ホームページは、下記アドレスを直接入力し、せたな町ホームページから議会のページへ移動するか、せたな町議会で検索していただくことで、ご覧になれます。

<http://www.town.setana.lg.jp/>

せたな町議会



議会の動き

◆ 10 月 ◆

- 3 日 森林事業活性化議員連盟総会
- 11 日 第7回臨時会
- 18 日 第11回正副議長・委員長協議会
- 24 日 第8回臨時会
第9回総務厚生常任委員会
- 30 日 議員懇談会
- 31 日 第4回議会広報発行常任委員会

◆ 11 月 ◆

- 6 日 第7回畜産クラスター事業の推進と専決処分のあり方に関する調査特別委員会
決算審査特別委員会（2日目）
- 10 日 議員懇談会
- 16 日 第10回総務厚生常任委員会
- 17 日 第3回政治倫理に関する議員懇談会
第12回正副議長・委員長協議会
- 20 日 総務厚生常任委員会行政視察調査（22日まで）
全国議長大会（22日まで）
- 22 日 第8回産業教育常任委員会
- 24 日 新美谷トンネル視察
第6回全員協議会

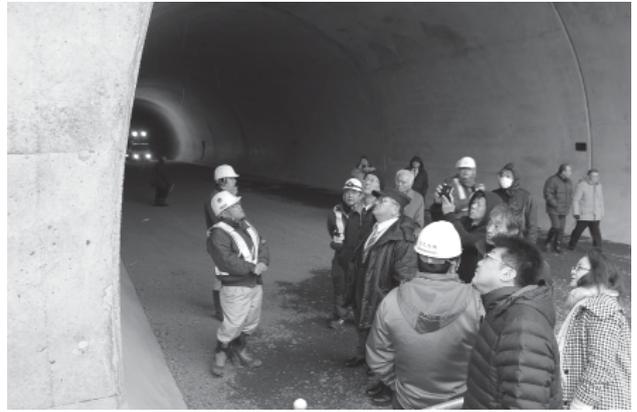
◆ 12 月 ◆

- 1 日 第10回議会運営委員会
- 6 日 第4回定例会
第11議会運営委員会
議員懇談会
- 19 日 第8回畜産クラスター事業の推進と専決処分のあり方に関する調査特別委員会
第9回産業教育常任委員会
- 21 日 第2回北部松山衛生センター組合議会定例会

新美谷トンネル視察

11月24日、瀬棚区の新美谷トンネルを議会で現地視察を行いました。

当日は、悪天候の中での視察ではありましたが作業員の方々からの丁寧な説明を受け、トンネル内外の視察をいたしました。



事務局から のお願い

議会議長宛の
案内・請願・
陳情等は、
議会事務局へ
提出願います。

編集後記

12月定例会におきまして議会で、議員辞職勧告決議を議決することとなりました。このことは議員として色々と考えさせられる決議でありました。

一方、産業ではお米は春先に天候に恵まれず心配しましたが、平年より良く他の農産物も良好と聞いております。

水産は前年度の3倍という鮭の漁獲量と聞いており、ウニ漁も良好だということでした。ホッケやイカ、その他の魚は例年より少なく来年期待したいです。

来年は町民から安心される議会活動にしていきたいです。
(大湯)

議会広報発行常任委員会

委員長	平澤 等
副委員長	神田 和浩
委員	梶田 道廣
〃	大湯 圓郷
〃	熊野 主税